

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：マジカル SP-3 粉体

会社：日本ジッコウ株式会社
住所：兵庫県神戸市西区南別府 1 丁目 1 4 番 6 号
担当部門：技術企画部
電話番号：078-920-1115
FAX番号：078-920-1116
用途：コンクリート補修用モルタル

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

健康有害性

皮膚腐食性及び刺激性	: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分 1
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 区分 1 A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 1 (呼吸器)、区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 1 (呼吸器、免疫系、腎臓)

【GHSラベル要素】



「注意喚起語」

危険

「危険有害性情報」

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
呼吸器の障害
呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器、免疫系、腎臓)の障害

【注意書き】

《安全対策》

使用前に取扱説明書 (安全データシート) を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

《応急措置》

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合：洗濯すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合、又は気分が悪いときは、医師に連絡すること。医師の診断／手当てを受けること。
- 特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。

《保管》

部外者が触れないような措置をし、保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

- 化学名又は一般名：ポルトラントセメント, 珪砂(シカ), パーライト, 水酸化カルシウム, 繊維, 混和材料(有機化合物を 0.3~2%含有する。)
- CAS 番号：ポルトラントセメント;65997-15-1
珪砂(シカ);14808-60-7
パーライト;93763-70-3
水酸化カルシウム;1305-62-0
繊維, 混和材料;登録あり
- 化審法番号：珪砂(シカ)、パーライト;1-548
水酸化カルシウム;1-181
繊維, 混和材料;登録あり

物質の化学特性に関する情報

- ・労働安全衛生法「表示・通知対称物質」ポルトラントセメント：25~50%
- ・労働安全衛生法「表示・通知対称物質」シカ：20~45%
- ・労働安全衛生法「表示・通知対称物質」水酸化カルシウム;5~15%

4. 応急措置

- 吸入した場合：速やかに、新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合：速やかに清浄な水で 15~20 分間注意深く洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗浄したのち、直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : ・本製品は不燃物質である。
・周辺の火災時は全ての消火薬剤の使用可。
- 使ってはならない消火剤：情報なし
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれ
- ・呼吸器の障害
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・回収作業には、保護手袋、保護衣、保護長靴、保護眼鏡、保護面、防じんマスクを着用する。
- ・屋内の場合、作業が終わるまで十分な換気を行う。作業は風上から行い、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

- ・粉じんが飛散しないようにする。
- ・環境中及び下水に流出しないようにする。
- ・濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・掃除機、スopp、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
 - ・回収物や回収した洗浄水は、1 3. 廃棄上の注意に従い、廃棄又は排水する。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱者のばく露防止 : ・眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、防じんマスク等)を着用する。

局所排気・全体排気 : 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。

安全取扱注意事項 : ・使用前に取扱説明書(安全データシートなど)を入手すること。
・全ての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。
・取扱う際は、飲食又は喫煙をしないこと。
・みだりに粉じんが発生しないように取扱う。
・取扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。
・接触、吸入又は飲み込まない。

接触回避 : アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

混触禁止物質 : 酸性の製品。水と接触の恐れがない場所に貯蔵すること。

適切な保管条件及び避けるべき保管条件 : ・部外者が触れない措置を講ずること。
・乾燥した場所に保管すること。

安全な容器包装材料 : 防湿性の容器

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：・室内で取り扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

・多量に取り扱う場合は集塵機を設置する。

管理濃度(労働安全衛生法・作業環境評価基準)

ポルトランドセメント; 1.36mg/m³ (遊離シリカ含有率 1%として計算)

シリカ ;0.025mg/m³ (遊離シリカ含有率 100%として計算)

許容濃度：・日本産業衛生学会

(2017 年度) ポルトランドセメント：第 2 種粉塵 吸入性粉塵;1mg/m³
総粉塵;4mg/m³

(2017 年度) シリカ(石英) : 吸入性結晶質シリカ ;0.03 mg/m³ 吸入性粉塵

・ A C G I H(2018 年)

ポルトランドセメント：TWA ;1mg/m³

シリカ(石英) : TLV-TWA ;0.025 mg/m³ A2

保護具 呼吸器の保護具 :防塵マスク
手の保護具 :保護手袋
眼の保護具 :保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具:保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 物理的状态;固体、形状;粉末、色;灰白色
臭い : 無臭
融点・凝固点 : 約 1350℃
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性 : 不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 爆発性なし
引火点 : 不燃性
自然発火温度 : 不燃性
分解温度 : データなし
pH : 水と接触すると 12~13
動粘性率 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度(g/cm³) : 2.5~2.9(20℃)
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の条件では危険な反応は起こらない。
化学的安定性 : 水と反応して安定固化する。
危険有害反応可能性 : 該当しない。
避けるべき条件 : 水及び湿気を避ける
混触危険物質 : 酸性の製品。水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を呈する。
危険有害な分解生成物 : 該当しない。

11. 有害性情報

急性毒性	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 1 ポルランドセメント。区分 2 水酸化カルシウム。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。以上より区分 1 とした。 区分 1 ポルランドセメント、水酸化カルシウム。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。 ポルランドセメントに極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。
生殖細胞変異原性	: 区分 2 シカ
発がん性	: 区分 1 A シカ
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 1 (呼吸器) 水酸化カルシウム。 区分 3 (気道刺激性) ポルランドセメント
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1 (呼吸器) ポルランドセメント、シカ。 区分 1 (免疫系、腎臓) シカ
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	: 環境生物に対して有毒であるとの情報なし。 接触水はアルカリ性(pH12~13)を呈するから、環境に影響を及ぼさないように注意する。
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: (ポルランドセメント)当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
環境基準	: (ポルランドセメント)土と混合した改良土からは、土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行い、溶出量を確認する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: ・ 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。 ・ 洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意しなければならない。 ・ 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 該当しない。
国内規制 : 該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策及び条件
- ・ 粉塵のたたない方法で輸送する。
 - ・ 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。
 - ・ 湿気、水漏れに注意する。

15. 適用法令

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
労働安全衛生法（粉じん障害防止規則）
労働安全衛生法 第 57 条「表示対称物」 ポルトランドセメント、シカ、水酸化カルシウム。
労働安全衛生法 第 57 条の 2「通知対称物」 ポルトランドセメント、シカ、水酸化カルシウム
化学物質管理促進法：第一種、第二種指定化学物質に該当しない。
じん肺法

16. その他の情報

- ・ 本データシートは、日本工業規格 JIS Z 7253:2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。
 - ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。
 - ・ 本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。
-

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：マジカル SP-3 混和液
会社：日本ジッコウ株式会社

住所：神戸市西区南別府 1 丁目 1 4 番 6 号
担当部門：技術企画部
電話番号：078-920-1115
FAX番号：078-920-1116

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

健康有害性

引火性液体 : 区分に該当しない
急性毒性（経口） : 区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
発がん性 : 区分に該当しない
生殖毒性 : 区分2

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） : 区分3
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分3

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【GHSラベル要素】

「絵表示」



「注意喚起語」

警告

「危険有害性情報」

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害

【注意事項】

《安全対策》

使用前に取扱説明書（安全データシート）を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまでは取扱わないこと。
緊急時を除き、環境への放出を避けること。

《救急措置》

ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。

《保管》

施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: アクリル系エマルジョン
C A S 番号	: ホ ^o リオキシエチレンニルフェニルエーテル; 68412-54-4 アクリル酸ノルマルブ ^o チル; 141-32-2
化審法番号	: 共重合体; 既存 アクリル酸ノルマルブ ^o チル; 既存 ホ ^o リオキシエチレンニルフェニルエーテル; 既存
危険有害成分	: ・労働安全衛生法第 57 条の 2(通知対称物質(アクリル酸ノルマルブ ^o チル)、 C A S 番号 141-32-2) <0.3% ・P R T R 法(第 1 種指定化学物質 (ホ ^o リオキシエチレンニルフェニルエーテル)、 C A S 番号68412-54-4) 1.7%

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水、泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	: 特になし
消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は、風上から行う。
消火を行う者の保護	: 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急措置	・作業の際には、長靴・手袋・保護眼鏡などの保護具を着用する。
環境に対する注意事項	・河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させる。 ・河川・湖沼等の公共水域への流入は絶対に避ける、

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・少量漏洩時：布・紙ウェス・おが屑・砂などに吸収させて回収する。
 - ・大量漏洩時：流路を毛布、土嚢、土罎等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げる。
- ※注意：河川・湖沼等に流入した場合は、必要に応じ、消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に連絡を取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：・漏洩を防止する。
- ・取扱いは換気の良い場所で取扱う。
 - ・スプレームストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか保護マスクを着用する。
 - ・目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ、保護眼鏡・保護手袋などの保護具を着用する。
 - ・水禁忌物質との接触を避ける。
- 保管：・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
- ・密栓し、凍結・直射日光を避け、屋内で保管する。貯蔵温度は5～35℃が好ましく温度変化の大きい戸外は避ける。
 - ・皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措

- ばく露濃度基準：該当成分なし
- 設備対策：・蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
- ・作業場には、洗眼器を設置すること。
- 保護具
- 呼吸用保護具：状況に応じ、有機ガス用保護マスクを着用する。
 - 保護手袋：状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
 - 保護眼鏡：状況に応じ、保護眼鏡を着用する。
 - 保護衣：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：水性液体
- 色：乳白色
- 臭い：ほとんどなし
- 融点／凝固点：約0℃
- 沸点又は初留点及び沸点範囲：約100℃
- 可燃性：データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし
- 引火点：データなし
- 自然発火点：データなし
- 分解温度：データなし
- pH：8.0～9.0

動粘性率	: データなし
溶解度	: 水と任意の割合で混合可能
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 約 1. 0
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の実取扱い条件では反応性はない。
化学的安定性	: 通常の実取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の実取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 水禁忌物質との接触
混触危険物質	: 水禁忌物質
危険有害な分解生成	: 知見なし

11. 有害性情報

[GHS分類]

急性毒性

経口	: 混合物の急性毒性推定値は 2000mg/kg 以上。
経皮	: 混合物の急性毒性推定値は 2000mg/kg 以上。
気体	: 本製品は常温で液体のため分類対象外。
蒸気	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
粉じんおよびミスト	: 混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。

皮膚腐食性/刺激性

- ・混合物の皮膚腐食性区分 2 に該当する成分濃度が 1 %未満。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

- ・混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。

呼吸器感作性

- ・混合物の呼吸器感作性データが不十分のため、分類できない。

皮膚感作性

- ・混合物中の、皮膚感作性データが不十分のため、分類できない。

生殖細胞変異原性

- ・混合物の、生殖細胞変異原性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0. 1 %未満。

発がん性

- ・混合物の、発がん性区分 2 以上に該当する成分濃度は 0. 1 %未満。

生殖毒性

- ・混合物の、生殖毒性区分 2 以上に該当する成分濃度が 3. 0 %のため、区分 2 に相当。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

- ・混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）データが不十分のため、分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

- ・混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）データが不十分のため、分類できない。

誤えん有害性

- ・製品の 40℃での動粘性率が 20.5 mm²/s 以上のため、分類対象外。

刺激性（皮膚，眼）

- ・皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。
- ・蒸気を吸引すると、頭痛をおこす場合がある。

成分の急性毒性：アクリル酸ノルマルブチル 4349 mg/kg LD50（ラット）

12. 環境影響情報

[GHS分類]

水生環境有害性 短期（急性）

- ・混合物の、水生環境有害性 短期（急性）区分 3 に該当する成分濃度が 25%以上あるため、区分 3 に相当。

水生環境有害性 長期（慢性）

- ・混合物の、水生環境有害性 長期（慢性）区分 3 に該当する成分濃度が 25%以上あるため、区分 3 に相当。

生態毒性 : データなし

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性：モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄は原則として焼却とする。そのままの状態では絶対廃棄しない。
廃棄は許可を得た産業廃棄物処理業者に委託する。
洗浄水等の排水は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

汚染容器・包装：内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連分類：非該当

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。

その他、消防法、船舶安全法等の法令に定めるところに従う。

容器に漏れない事確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：第 57 条 2（通知対象物質）アクリル酸ノルマルブチル

P R T R 法 : [第 1 種指定化学物質] ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル

毒劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

16. その他の情報

- ・本データシートは、日本工業規格 JIS Z 7253:2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報等に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供でありいかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献

- | | |
|-----------------------|--------------|
| ・ 1 4 1 0 2 の化学商品 | 化学工業日報社 |
| ・ 化学物質の危険，有害便覧 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシート作成指針 | 日本化学工業協会 |
| ・ 合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針 | 日本エマルジョン工業会編 |
-